

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援みらすくキッズガーデン			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日		～	2025年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		～	2025年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団の中での療育であり、その中でも職員数が充実している ので、集団療育の中でも個別の対応ができること	・集団療育の中で、困りごとや不安を感じている様子の児童に 対しては、職員が寄り添いながら声かけや関わり方を伝え、困 り事等への解決に繋げていけるように対応を行っています	・職員のスキル向上に向けて、職員間での意見交換を充実 や、必要に応じて職員間の研修を実施していく
2	保護者様からご相談があった際には、すぐに対応できる体制が とれていること	・保護者様への申し送りやメール・連絡帳の記入を行いなが ら、ご家庭での様子を確認し、情報共有しています。 ・保護者様からご相談があった際には、お話を伺いしスタッフ で共有をして改善策を検討しています	・保護者様には、こちらから声をかけていくようにしてい く。
3	公共施設や交通機関（バス・モノレール）の体験を取り入れて いること	・子ども達に色々な体験を通して、楽しみやマナーを身に着け ていけるように取り組んでいます	・子ども達の成長に合わせながら、公共機関を利用する機会 を設けていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保育園やこども園・幼稚園との関わる機会の設定	・地域の子ども達と関わる機会は、公園や児童センター等で行 なっているが、保育園・こども園・幼稚園との交流機会を設け られていない	・交流会や行事等の情報を確認していく
2	家族支援に向けての取り組み	・ご家族が参加できる研修や講習会のご案内が十分ではない	・ご家族様向けの講習会等の情報を確認していく
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらすくキッズガーデン

公表日 令和7年 5月 6日

利用児童数 18名

回収数 17名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16			1	・十分な広さが確保されている ・分からないけれども、丁寧に支援をして くれているので大丈夫だと思う	・お子様達が、快適に過ごせるスペース の確保に今後も取り組んでいきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			2	・スタッフの人数が多いので安心 ・適切だと思う ・分からないけれども、丁寧に支援してくれて いるので大丈夫だと思う	・お子様が安全に過ごせるように職員配 置を確認していきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			2	・トイレも1人で座れるような配慮がさ れている	・お子達が、安心して安全に自分ででき る事ができるように、工夫を行ってい きます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			1	・部屋はきれいで、子どもが好きなビ アノも置いている	・お子達が関心あるものを取り入れてい きます
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	17				・療育課題で専門性のある支援を受けて いると感じている	・お子様を理解していけるように、スタッフ間で情 報を共有していき、どんな支援が良いのかを話し合 い、よりよい療育を行っていきます
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	17					・5領域に沿った支援プログラムを作成して書面で 保護者へ配布、ホームページでも公表しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	17				・しっかりと作成されている	・お子様と保護者様の意向を確認してい きます
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					・定期的にアセスメントを行い、本児と保護者の ニーズに沿った個別支援計画を児童発達支援ガイ ドラインに基づいて作成しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					個別支援計画に基づいた支援が行えるように、朝礼 等で支援内容を確認しています。また支援につい ての方法を共通理解できるように会議も実施してい ます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	17					季節の行事を取り入れたり、クッキングなどお子 様の希望も受け入れながら活動を変化させ療育を行 っています。また、スタッフ全体で意見を出し合い楽 しく活動ができるように考慮しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	11	1		5	・そういったプログラムにはまだ参加し た事がないので分からない ・まだ利用して日が浅いので分からない	令和6年度は、地域の保育園との交流を予定してい ましたが、感染症のため中止となってしまう実 施できていません。再度検討して参ります。また 活動の中では児童センターなど地域交流を積極 的に活用し交流が図れるよう行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	17					契約時に重要事項説明書に沿ってご説明してい ます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17				・毎回丁寧にされている	・ご不明やご希望に添えていない際には、 その都度ご相談させて頂きながら、 作成していきます
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	16			1	・月に1回参観日が設定されている	・保護者様のお話を伺いしながら、必 要に応じてペアレントトレーニングの研 修会のご案内を行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	17				・とても細かい所まで教えてくれ、助 かっている	・今後も申し送りやお電話を通して、お 話をお伺いし、情報共有を行っていきま す
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17				・モニタリングで情報交換等ができてい る	・モニタリング等以外にも、話しやすい 環境作りに取り組んでいき、子育てにつ いて等のご相談をお伺いしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				・子どもの事をよく理解し支援されてい る	保護者様やお子様の意向を職員同士で共有し、寄 り添った支援を心がけています。今後も丁寧 に情報共有しながらお伝えしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14			3	・まだいけていないが、月に1度保護者 同士の交流する機会がある	・保護者様の交流の機会は、行事を通し て設けており、きょうだいも楽しみな がら参加できるような内容を考えていま します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	17					契約時に相談窓口を設けていることをお伝えし ています。その際は、ご相談内容に沿って適切 な職員で対応できるよう配慮しています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17				保護者へは口頭のみではなく、メールやLINEなどの文章で見分ける媒体を使うよう配慮を行っています。児童に対しても絵カードを使い意思を伝えやすくなるよう配慮しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17			・SNSはありがたい	・日常のお子様達の様子をこれからも届けていきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				書類は鍵付きの書庫にて保管しています。日々の活動を発信するSNSでは保護者や関係者のみの閲覧に制限し、活動写真は顔出し有無を保護者の意向に沿って編集しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16			1	・マニュアルは作成されているので、ご利用契約をする際に、合わせて確認を行っていく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			1	・年2回の避難訓練を行っています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1			・保護者様への十分な周知を心がけていきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			1	・事故等が発生した際の対応は、行っています
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	1			・安心してご利用頂けるように、お子様の様子を保護者様と共有し、お子様の様子に合わせながら対応していきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1		・歌を歌いながら楽しく通っている	・楽しんでご利用頂けるように、お子様の好きなもの関心あるものを取り入れていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17			・いつもありがとうございます ・満足している	・お子様の成長に合わせて、スタッフ間で意見交換をしながら、支援内容も変更していき成長に繋がっていきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
みらすくキッズガーデン		令和5年 5月 6日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・児童数や児童の様子に合わせて、グループ分けを行ない、適切な空間を工夫しています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・適切に配置できています。 ・児童数や児童の特性を見ながら、パートスタッフも多く配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・トイレの場所などイラストを貼って、視覚的に分かりやすいように表示しています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・仕切り板を使用して、空間分けを行なっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		・業務終了後にスタッフ間で振り返りや次回に繋げる話を行なっています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		・評価を受けた事を、スタッフ間で情報共有をし、改善に向けて意見交換を行っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・スタッフ会議の日を設けて行なっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		・必要に応じて外部評価を実施し、よりよい業務内容を検討・改善をしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	・スタッフ会議にて実施をしています。	・外部研修も取り入れていき、資質向上を図っていきます
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・支援スタッフの考えや子ども達の様子を日常的に確認を確認しています	・今後も情報共有・意見交換を行いながら、個別支援計画書の作成していきます
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・子どもの様子・成長に合わせて保護者様に確認をしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・行事や公共施設・機関（バスやモノレール）等、地域生活で使用するものを取り入れるように工夫をしています	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		・個別課題については、個別ファイルを作り、その中に児童に合わせた教材を入れ、何をしたのかを記載している。	・課題は変わっていくので、児童の情報をスタッフ間で情報共有し、児童に合わせて教材を変更していく必要がある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・朝礼を実施し、児童情報の共有・スタッフの役割などの確認を行っています。	・複数のスタッフで意見交換ができるような環境作りを行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・少しでも気になった事は、スタッフ間で情報交換をし共有しています ・口頭での伝え忘れがないようにSNSにて状況報告を行っています	・終了ミーティングの時間を調整する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・記録をとる際には、スタッフ間でその日の様子を情報交換しながら行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・モニタリング以外でも保護者様の意向や児童の様子確認を行っています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・児童発達管理責任者が参加し、その前に支援スタッフに情報共有を行っています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・医療に関しては保護者様に確認を行っています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		モニタリングにて情報共有等は行っています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		該当児童が現在までにいませんが、保育園入園等の際には、情報共有を行っています	・今後、必要に応じて取り組んでいきます
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8			・今後、必要に応じて機会を設けてもらうように依頼・訪問を行っています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	・おでかけの中で、地域の公園に遊びに来ていたお子様との関わりや児童館の利用をする事で地域との関わりの場を設けています。	・こども園や保育園・幼稚園等の交流の場を設けていないので、行事を機会に設けていけるよう調整していきます
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	・月に1度保護者会にて、ご家庭等のお話をお伺いしています	・ご相談に合わせて、ご家族様へ研修の情報提供を行っています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		・保護者会の実施や行事にご家族様も参加して頂き、交流の場を設けています	・今後も継続して保護者様同士が交流し情報交換できる機会を設けていきます
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		・地域の方と交流を目的にハロウィンイベントに参加してもらったり、夏祭りやクリスマス会ではご家族やボランティアで演奏会をしてもらっている。	・地域をお散歩の中で挨拶をしたり、地域施設の訪問は継続していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			・実際に起こった時の対応をスタッフ間で共有し、研修等も調整をしていきます
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			・実際に起こった時の対応をスタッフ間で共有し、研修等も調整をしていきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8			